

愛川町消防団第二分団 人情火消し

平成24年度
春号 (第9号)

発行 愛川町消防団第二分団
編集 人情火消し編集委員会



平成二十五年一月五日
消防出初式

分団長あいさつ

高峰地区の皆様方におかれましては、日ごろから第二分団の消防団活動につきまして、格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。

さて、昨年七月には神奈川県消防操法大会が開催され、第二分団は愛川町消防団の代表として、小型ポンプ操法の部に出場いたしました。

神奈川県下の精鋭された選手達の中、優勝こそ逃しましたが、長期間にわたる訓練の成果を遺憾なく発揮し、素晴らしい操法を披露する事ができました。

町消防本部の職員による情熱ある指導をいただき、選手も自主訓練に励むなど、チーム一丸となって取り組みましたこと、第一分団の絆がより一層強く結ばれたことが、大きな収穫であったと考えております。

また、訓練中や大会当日には地域の皆様から心温まる激励や応援をいただき、誠にありがとうございました。話は大きく変わりますが、東日本大震災から早いもので約二年が過ぎようとしております。しかしながら、今度は、南海トラフ巨大地震、首都圏直下型地震などの起こる可能性が予想されております。

災害はいつ起こるかわかりませんし、決して想定内では起こるわけでもありません。大自然の猛威の前には、一人ひとりの力ではあまりにも微力です。

私たち消防団員は、高峰地区の皆様が安心して暮らしていけるよう、各行政区の自主防災組織と連携を図り、一体となって災害に立ち向かえる体制の構築を目指して今後も消防団活動を行ってまいりますので、引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

愛川町消防団第二分団

分団長 高橋篤史

副分団長 有賀純一郎

第二分団第一部 (三増区)



皆さんこんにちは。三増区を管轄する第二分団第一部です。高峰地区の皆さんには、日ごろから消防団活動にご理解とご協力いただき、厚くお礼申しあげます。今期、第二分団第一部には5名の新入団員が入団いたしましたので、ご報告させていただきます。新たな仲間と一緒に三増区民の皆様に貢献できるよう、消防団活動に励んでまいりますので、今後ともご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

新入団員から一言

コメント



小林 由季 団員

兄と一緒に頑張ります



宮木 満貴 団員

兄と共に頑張ります



伊藤 秀胤 団員

地元地域に貢献できるよう頑張ります



影山 純也 団員

諸先輩方の指導のもと頑張ります

都合により no photo

中里 豊 団員

地元、皆様への役に立てよう頑張ります

平成二十四年度の主な活動

- 四月 性能検査、牛松山ハイキングコースの清掃
- 五月 牛松山八十八夜祭、ごみせり・クリンキャンパーン
- 六月 操作訓練
- 七月 操作大会、諏訪神社祭り警戒、育成会盆踊り警戒
- 八月 団員研修他
- 九月 諏訪神社祭り警戒、防災訓練、三増合戦祭り警戒
- 十月 団員研修他
- 十一月 秋の火災予防運動
- 十二月 歳末火災特別警戒、消火器点検
- 一月 消防出初式、どんど焼き警戒
- 二月 消火器点検
- 三月 団員研修他、春の火災予防運動

新入団員募集

現在、共に活動していただける団員を募集しております。区内に適正に団員を配置することで、火災等における初期体制の拡充を図りたいと考えておりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

第二分団第二部 (小沢区)



金川町消防団 第二分団第二部 Aikawa Town Volunteer Fire Corps II-II

皆様こんにちは。小沢地区を管轄している第二分団第二部、新部長の熊澤一友です。

地域の皆様には日ごろから消防団活動にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。

今期は新たに1名の団員が入団いたしましたので、ご紹介いたします。

期待の新入団員



木村 光龍 団員

「消防団に入団したきっかけは、団員の方々に勧誘をいただき、今までは地域に貢献する機会がなかったため、良い機会だと思いい入りました。」

まだ、実際の現場に出動したことはありませんが、これからもしっかりと訓練を行い、消防団員として、地域に貢献できるように活動したいと思っております。

火災予防

火災予防啓発広報活動として、火災予防週間(春・秋・年末)などに、消防団車両にて夜間の巡回警戒を実施しています。

このような広報活動は、火災の未然防止のための防災意識の高揚はもちろんのこと、夜間での巡回になることから地区防犯パトロールも兼ねることができ、地域の皆さんの生命・財産を守るための大事な任務の一つだと思っております。

防火標語や注意喚起を呼びかけながらの夜間巡回警戒のため、警鐘音などでご迷惑をおかけしてしまうこともあろうかと思いますが、火災の未然防止のため、何とぞご理解のほど、よろしくお願いたします。

地域とのつながり

第二分団第二部では、毎年大晦日の深夜から、高田橋付近の「諏訪神社」境内において、初詣に参られる参拝者の皆さんが寒くならないよう暖をとるための焚き火の警戒を行っており、そのまま地元の皆さんと一緒に、気持ち温まる新年を迎えています。



地域の人で構成されている消防団だからこそ地域と密着した活動を行い、地域に愛され、頼られる消防団として活動できるよう今後も頑張っておりますので、これからご理解とご協力をよろしくお願いたします。

第二分団第三部 (箕輪区)



真剣な眼差し



「放水止め！」

県操法を経験することで、改めて消防団員の方々と係わりを持つことができ、絆が深められたと思っております。県操法の訓練を通して得られた経験を今後の消防団活動に活かしていければと考えています。ご声援ありがとうございます。

選手からの感想 土門巨幸 (どもんなおゆき)

今年度は神奈川県消防操法大会が開催され、第二分団第三部からは2名の団員が選手として出場しました。今回は、大会に出場した2名から感想を聞いてみました。



皆様こんにちは。箕輪地区を管轄しています第二分団第三部です。

日ごろより、箕輪区の皆様におかれましては消防団活動へのご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

諏訪部陽輔 (すわべようすけ)

今回の県操法の一番の思い出は多くの仲間ができた事です。

また、コーチや署・団員のみならず、大勢の方々からのサポートや応援のおかげで、やり遂げる事ができたと思っています。

有事の際には、この大会で得られた経験を活かすとともに、伝えていければと思います。

応援ありがとうございます。

団員構成

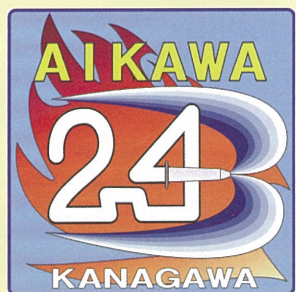
現体制の団員構成を紹介させていただきます。

部長	馬場貴文	(幣山)
副部長	竹松圭二	(下箕輪)
班長	小関佑	(睦台)
班長	馬場晃	(幣山)
班長	山瀬豊	(睦台)
班長	土門巨幸	(睦台)
班長	小針知央	(原箕輪)
班長	ガニク西山リカルド	(原箕輪)
団員	原健太郎	(原箕輪)
団員	諏訪部剛	(原箕輪)
団員	馬場将和	(原箕輪)
団員	諏訪部陽輔	(下箕輪)

地域の皆さんが安全・安心に生活できるように努めてまいりますので、今後とも、ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。



第二分団第四部 (角田区)



ごあいさつ

角田区を管轄している第二分団第四部、新部長の成井健浩です。

日ごろより角田区の皆様におかれましては消防団活動へのご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

今回は、昨年四月に入団した3名の団員に入団のきっかけや今後の意気込みなどを語ってまいりました。

「新入団員紹介」

古座野 裕昌 団員

入団のきっかけは、先輩団員の勧誘で消防団に入らないかと声をかけられ、私も火災時における対応や知識に興味があり、入団しました。また、地元で何か貢献したいとも思っていたので参加させていただきました。

消防団活動に必要な知識や技能を先輩方に一つ一つしっかりと学び、緊急時にしっかりと対応できるように努めていきます。



小針 和臣 団員

私が消防団に入団したきっかけは友人や兄弟、前部長より勧誘をいただき、入団を決意しました。

以前までは育成会に参加し、地域貢献してまいりました。今後は消防を通して地域の有事に備え、日々精進していきたいと思っております。

現在、先輩方の温かい指導をいただきながら、一人前の消防団員になるよう訓練に取り組んでいます。

第二分団第四部をさらに盛り上げていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。



成田 真一 団員

消防団の勧誘を受けて、第二分団第四部に入団させていただきました成田真一です。

角田区に引越しをしてきて、近所との交流もなかったため消防団に入り、少しでも知り合いができたらいいと思いい、入団しました。

入団して約1年になり、先輩方に色々な消防のご指導をもらい、とても楽しく過ごさせてもらっています。

これから消防団として地域に貢献できるように努めていきたいと思っております。



第48回神奈川県消防操法大会 優良賞

平成24年7月24日(火) 神奈川県総合防災センター(厚木市)



指揮者：小曾根英樹 (2-4)

1番員：宮木貴紀 (2-1)



2番員：篠崎力也 (2-2)

3番員：諏訪部陽輔 (2-3)

補欠：大山伸二 (2-4)

補欠：土門巨幸 (2-3)



「消防操法大会」は、迅速、確実かつ安全に行動するために定められた消防用機械器具の取扱い及び操作の基本について、その技術を競う大会です。

今年度は、愛川町から第二分団が小型ポンプ操法の部に出場しました。(分団として、六年に一度の晴れ舞台です。)

夏の日差しが照りつけ、三十度を超える猛暑日となったこの日、選手は皆で陣を組み結束を高めて、競技に臨みました。出場は十四番目です。

午前中からの強い日差しで出番を待つ間にも体力と気力が徐々に奪われていってしまうのではと心配しましたが、選手達の気持ちは気温とともに高ぶってきているように感じました。

実際の競技では現時点でできることを、精一杯の操法を見せてくれました。結果は十一位、優良賞。順位が全てではなく、それ以上に選手を含む第二分団皆のやりきった表情が印象的でした。また、消防本部職員(コーチ)の皆さんも一様に充実した顔を見せてくれていたように感じました。

人間関係が希薄になってきているといわれるこの現代で、「団結」、「絆」、得たものは大きく見えました。訓練の時から応援してきたので、「感動」も分けしてもらえました。



「私たちは本当にキミの入団を待っています！」

愛川町消防本部
にまずは電話し
てみよう。

285-3131



編集後記

この冬はインフルエンザが流行しましたね。皆さんは大丈夫でしょうか？今号の編集者である私は締め切り直前でインフルエンザにかかり、一週間は何もできなくなっていました。

余裕があると思っただけも何があるかわかりません。これは生活だけに限らず、いろいろなことにも同じことが言えます。金曜日食を見ようと思ったら突然

雲が多くなったり、安全だと思っていたトンネルの天井が崩落する事故が起きたり…。

日常起こる災害に予定されているものはありません。「遠くの親戚より近くの他人」という言葉があるように、いざというときは身近にいる他人の方が頼りになります。消防団の活動はこの「近くの他人」という言葉によく合うような気がしますが、皆さんはどう思われますか？



新入団員募集中です！

安全・安心な高峰地区を目指して！

あんなに広報誌に

目を止めてくれたキミ

第二分団では、現在一緒に活動してくれる団員を募集しています。

「自分たちの地域は自分たちで守る！」という趣旨に賛同いただける方、消防団活動やボランティア活動に少しでも興味のある方、この地域に生活し愛着があれば、年齢や職業または出身が違ったとしても問題ないです！たくさんの方々が一緒になって、町の安全・安心のために活動しています。

消防団は、火災時はもちろん、今後心配される大規模な地震や、大雨などによる土砂災害など同時に各地で災害がおきた場合に非常に重要な役割を果たします。